

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 5 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	1ユニット 入居者それぞれの日々の生活の中に嬉しい時、楽しい時が多くあるように「楽しみの支援」を行っています。本人本位の楽しみに思う生活支援が充実するよう工夫した支援を継続していきたい。	介護理念に添った介護を継続する。一人ひとりの思いにも寄り添い、どんな状態であっても嬉しい気持ち、楽しい気持ちを大切に支援し、ひなたでの生活の中に幸せな時を感じてもらえるようにする。=1ユニットらしい毎日	◎一人ひとりの情報をたくさん得る、まとめる。 1. 嬉しい気持ち、悲しい気持ち、辛い気持ち 2. 楽しいこと、嫌なこと、好きなこと 3. したかったこと、したくないこと 情報から見えてくるその人の思いに気づく	12ヶ月
2	48	2ユニット 4名が新たに入居し1年が経ちました。9名の本人本位の「役割り、楽しみごと支援」の検討を何度も行ってきましたが、充実には至っていない。今の状態を奥深く知り、一人ひとり工夫し、今後も細かく検討と提案を繰り返し、取り組んでいきたい。	ひとり一人、嬉しい気持ちにする。楽しい気持ちにする。揃って楽しめなくても異なった状態の方同士が、小さな楽しみや喜びを共有出来る場面を作り、笑顔を増やせるよう援助する。=2ユニットらしい毎日	1. 職員は変化する状態の報告を理解する。 2. 職員は間に入り入居者同士が楽しめることをみつける。 3. 寝たきりの方に関わりがもてるよう、他入居者と一緒に訪室する機会をふやす。 ◎1. 2. 3を工夫して援助する	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。